



佐々木大介 市議会活動報告

2015年11月1日発行 Vol.1

発行責任者 佐々木大介
〒061-3257 石狩市樽川7条2丁目124番地
TEL 090-4877-2671 FAX 0133-77-5910
E-mail info@d-sasaki.com Facebook daisuke.sasaki.50552
HP www.d-sasaki.com ブログ http://ameblo.jp/d-sasaki-ishikari/



活動ブログ
も更新中!

■初めての一般質問

議員となり初めての定例会となった、6月10日より開催の平成27年度第2回定例会にて、一般質問の機会をいただき、以下の点について質問を行いました。



- 1 市職員の居住について
- 2 市営住宅の修繕状況と今後の建替えについて
- 3 将来的な公共交通の在り方について
- 4 犬、猫などの動物管理や愛護について
- 5 樽川5番通の子供たちの安全確保について

質問の詳細は、会議録検索からご覧いただけます。
<http://www.kaigiroku.net/kensaku/ishikari/ishikari.html>

■市職員の居住について

職員居住状況

	平成20年	平成21年	平成22年	平成23年
市外居住率	34.3%	34.8%	37.9%	41.4%
	平成24年	平成25年	平成26年	平成27年
市外居住率	42.3%	43.3%	45.2%	47.2%

職員の市外居住率は平成27年で47.2%となっており、周辺市町村の中で市外居住率の高い北広島市の26.2%（2月27日道新掲載数値）と比較しても、大変高い割合となっています。市外居住の割合は年々高くなっており、これは市内に居住していた職員の退職による影響が大きいと思われます。質問では、財政効果や地域活動の担い手としての市内居住の必要性や、住宅手当や通勤手当の差別化による、より具体的な市内居住を促す方策の検討を求めましたが、市の回答は、居住地選択の自由という観点から個々の職員の判断に委ねざるを得ないとの事で、職員に対する市内居住の呼びかけを行い、この問題を強く意識させるような情報発信に努めたとの回答でした。

（住宅手当に関しては、すでに平成30年度からの廃止が決定し、現在経過措置が行われているとの事）市の対応として、質問後に職員の居住状況を庁内に配布して意識改革を求めるなどの対応がとられました。この問題は、短期的に改善が難しい課題でもあり、今後も状況を注視して、職員採用の在り方なども含めた課題提起を行っていきたいと思っています。

■市営住宅の建替えについて

石狩市には、21の市営団地があり、総戸数で401戸が管理されています。その内、7割程度の15団地は建設から30年以上が経過しており、長寿命化に向けた修繕や建替えが計画されています。現在、昭和46年前後に建設された南花川団地（花川北6条2丁目）で、建替えの計画がありますが、市の財政上進展していない状況にあります。住宅環境の整備は、人口問題に直結する課題でもあり、近年問題となりつつある空き家住宅や、民間賃貸住宅などの活用を踏まえながら、市が主導的に計画を整備していく必要があると感じております。しかしながら、市営住宅の運営では家賃収入等から管理費や修繕費、建設時の市債の返済などを差し引くと、平成26



年度は4,600万円程度が市の持ち出しとなっており、今後の財政状況を踏まえ、民間賃貸住宅の借上げや、空き家住宅の活用などの民間ストックを含めた政策展開の必要性について、質問と提案を行いました。

■決算特別委員会（10/13～10/21）

10月13日から6日間にわたり、平成26年度決算に対する審議が行われ、下記の質問を行いました。

- 1 職員の時間外勤務の総時間数増の要因について
- 2 高校生就職支援事業の行政支援の意義について
- 3 国民健康保険特別会計の健全化について
- 4 生活保護費の決算額に占める自治体負担について
- 5 市営住宅の運営状況について

■石狩市の財政状況

市の市債残高は約310億円となっています。平成26年度の石狩市の一般会計の歳出総額が約280億円であり、1年間の歳出と同程度の借金を抱えています。自治体の負債の大きさを財政規模に対して示す、将来負担比率は平成21年度の166.1%から26年度に93.3%と大きく改善はされていますが、道内他市町村の平均が60%前後であることを考えると、まだまだ、大きな将来負債を抱えていると言えます。

■市職員の時間外勤務の総時間数増の要因について

市の行政改革として、時間外勤務の縮減が進められている中、平成26年度は、職員全体の時間外勤務時間が前年度比約15%増、目標計画に対しても26%増となっており、その要因について質疑を行いました。平成26年度は石狩湾新港の開港20周年などイベントが多かったというのが要因との事で、平成27年度以降は、業務の効率化により時間外勤務の縮減を進めていくとの回答でした。職員数が減少している中で時間外勤務の増加は、職員数の適正化とも関連してくる事項であることから、業務効率化への取り組みなどについて、今後とも質疑を行っていきます。

■国民健康保険特別会計、生活保護費の自治体負担

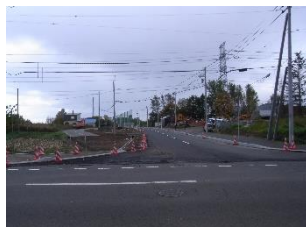
国民健康保険は自治体が運営し、一般会計とは異なる単独の会計となっていますが、慢性的な赤字が続いており、平成26年度は一般会計から約7億8千万円の繰入をし、補てんを行っています。生活保護費に関しても、平成26年度の扶助費は約11億円と近年は毎年扶助費が増え続けています。どちらも社会保障の上で大切な制度ではありますが、国民健康保険、生活保護ともに、加入者、受給者の半数以上が60歳以上となっていることから、国の制度の在り方や、生活支援策などの対策が必要であると考えており、その点について市の考えを伺いました。国民健康保険に関しては、平成30年度より、市から道に運営主体が移行するため、保険税の値上りなどの観点からも今後の動向を注視していく必要であると感じています。（生活保護の扶助費は、3/4が国、1/4が自治体の負担となります。）

■樽川小学校の建設要望について

花川南地区は小学校区が広く、南線小学校の児童数が多いこともあって、樽川地区へ小学校建設を望む声があります。現在、樽川5条地区の住宅分譲も進んでおり、さらに一定程度の児童数の増加も見込まれていますが、市全体の児童数の推移をみると、横ばい又は減少傾向にあります。一番新しく建設された緑苑台小学校の例をみると、学校施設の建設に18億円程度の費用がかかっており、用地取得や移転補償なども踏まえると、さらに多額の費用が必要になると考えられます。建設費用や維持負担は、最終的には市民の負担となることから、現時点で相対的に勘案すると既存小学校の有効活用を考えると望ましいのではないかと私自身は考えています。また、市の見解も同様の方向性となっています。

■花川北11線通の工事が始まりました。

緑苑台から花川北へと抜ける花川北11線通は近年、交通量も増えており、カーブが多く見通しが悪いため、平成30年度の完成を目指し改修工事が始まりました。



■今後の工事予定、計画

- ・石狩市学校給食センター新設工事
- ・花川通延伸工事
(石狩手稲線～国道337号線間)



5月～10月の主な議員活動

5/26	若手市議会議員の会 総会
5/28	石狩市議会 全員協議会
5/29	第1回石狩市議会 臨時会
6/3	石狩市民図書館 15周年 おたんじょう会
6/4	「寒塩引」完成披露の会
6/5	新人議員研修会
6/10～26	第2回石狩市議会 定例会
6/27	あそびーち 安全祈願祭
6/29	議会改革推進特別委員会
7/15	議員会 手話研修会
7/11	はまなすピリカ・ビーチ 安全祈願祭
7/15	広報特別委員会
7/19	ふれあい広場いしかり
7/22	総務常任委員会
7/27	議会改革推進特別委員会
7/31	第2回石狩市議会 臨時会
8/24	総務常任委員会 委員会視察
8/28	議会改革推進特別委員会
8/29～30	石狩まるごとフェスタ
9/5～6	石狩スポーツまつり
9/8～28	第3回石狩市議会 定例会
9/8	議会改革推進委員会
9/23	厚田ふるさとあきあじ祭り
9/26～27	石狩さけ祭り 鮭共養祭
9/26	いしかり消費者まつり
10/9	石狩市・彭州市姉妹都市提携 15周年記念式典
10/11	ワールドフェスティバル
10/13～21	決算特別委員会
10/18	石狩市総合防災訓練
10/22	石狩市議会 全員協議会
10/24	町内会 敬老会
10/25	石狩聴力障害者協会 30周年記念式典
10/29	議員会 視察研修

～あとがき～

最後までお読み下さり、ありがとうございます。
多くの皆様からお力添えをいただき、議員となって早くも5ヶ月が経ちました。私が議員になった決意として、出来るだけ多くの皆様に、議会活動や石狩の現状を知ってもらいたいとの思いがあります。多少一方的な活動報告ではありますが、今後とも継続して自分の活動を知っていただけるよう努力していきたいと思っております。
何かご意見があれば、お気軽にお寄せ下さい。